

令和6年度 環境学習アドバイザーを活用した環境教育の取組例

◇環境学習アドバイザー：中川 守 氏

◇学校名：和歌山市立東山東小学校

◇学年：1、2年

◇教科：生活科

◇テーマ：野鳥観察をしよう

◇学習のねらい

- ・野鳥に親しみをもつ

◇学習の流れ

★：アドバイザー派遣を活用した授業

校時	学習の主な活動	指導のポイント
1	野鳥観察シートを見て、野鳥に興味をもつ。	・様々な鳥がいることを知る。
2 ★	実際に公園に行き、裸眼や望遠鏡を使って、野鳥の観察をする。	・環境学習アドバイザーの説明を聞き、野鳥観察シートに載っている野鳥を探す。 ・野鳥の動きや大きさ、形を観察する。
3	学習をふりかえる。	・どんな野鳥を見つけたかをクラスで共有する。

◇実施時期：12月

◇成果

- ・今まで、「鳥」に着目することがあまりなかったこどもたちであるが、この観察会を通して、興味を持つことができた。後々、教室の窓から鳥が飛んできたのを見つけ、「観察会で見た鳥かな。」と話をしたり、鳥の観察に行くする姿がみられた。
- ・1年間の思い出を話したときに、この野鳥観察のことが上位にランキングされる程、こどもたちにとって、楽しい学びの1日となった。

◇実施の様子（写真）

